



#今月の特集関連本



救急外来、ここだけの話

坂本 壮、田中竜馬＝編

定価 5,720 円／B5 判・480 頁／医学書院／2021

救急外来（ER）の分野で議論のあるトピックを取り上げ、「第一線の医師はどのように考えて診療しているのか（＝ぶっちゃけ、どうしているのか）」を解説。関連するエビデンスを豊富に紹介しながら丁寧に論を進めていくスタイルで、救急医療が専門ではない若手医師も本書を読めば“controversial”な状況に強くなる！ 大好評の『集中治療、ここだけの話』に続く、シリーズ第2作。



『medicina』2021 年 4 月号 (増刊号) Vol.58 No.4

救急診療 好手と悪手

坂本 壮＝企画

定価 6,050 円／B5 判・320 頁／医学書院／2021

本特集は、救急外来で遭遇する可能性の高い疾患を中心に、疾患ごとに誰もが陥りやすい点を取り上げ（悪手）、みなさんが適切なマネジメント（好手）ができるようにという思いで企画された。各項では、執筆者が本気で取り組んだ結果得た“好手”の数々を紹介した。「本気の失敗には価値がある」。救急の現場の経験知が詰まった価値ある1冊。



高齢者 ER レジデントマニュアル

増井伸高＝著

定価 3,960 円／B6 変判・298 頁／医学書院／2020

「成人と高齢者は鑑別が異なる。マネジメントも異なる。高齢者は評価に時間がかかる」——。そんな悩みを抱える若手医師に向け、①成人との比較論でない高齢者の特徴、②診断できなくても結局どうするか、③高齢者でも短時間で評価が可能なテクニックを解説した。救急搬送年間1万台のERで研修医とともに日々奮闘している著者が「高齢救急患者特有の診療・マネジメント」のコツを余すところなく注ぎ込んだマニュアル。



救急整形外傷学

田島康介
Kazusuke Tanishima

整形外科医(以外)のすべての医師・スタッフに贈る
**救急外来における
整形外傷診療の決定版**
好評書『救急整形外傷レジデントマニュアル』を
大幅に拡充させた待望の1冊
医学書院

救急整形外傷学

田島康介＝著

定価 13,200 円／B5 判・336 頁／医学書院／2022

救急科専門医と整形外科専門医のダブルボードをもつ著者による「救急整形外傷学」の成書。研修医・若手医師から絶大な支持を集めている『救急整形外傷レジデントマニュアル』の内容をより詳細に記載し、エビデンスも豊富に提示した。「初療を担当する救急医は整形外科の根治手術までも見据えて評価・治療を行っていくべき」との著者の考えに基づき、そのための最低限の治療方針や考え方、思考回路を解説した。

救急・集中治療領域 における緩和ケア

監修 氏家良人
編 木澤義之

時間がない!

救命ができて死が避けられなくても、
がんだけではなく心不全でも外傷でも、
限られた時間の中で提供できる

緩和ケアがある。 医学書院

救急・集中治療領域における緩和ケア

氏家良人＝監修

木澤義之＝編

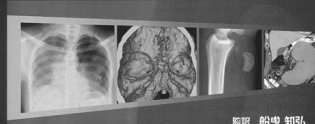
定価 2,970 円／B5 判・200 頁／医学書院／2021

救命できて死が避けられなくても、がんだけではなく心不全でも外傷でも、緩和ケアニーズは存在する。救急外来や ICU における緩和ケアニーズのアセスメント、患者・家族とのコミュニケーション、苦痛症状に対するケア——時間が限定された救急外来や ICU だからこそ、提供できる緩和ケアがある。「救命か、緩和か」ではなく、「救命も、緩和も」かなえるために、領域を超えて編まれた初めての書。

救急画像 ティーチングファイル

Emergency and Trauma Radiology:
A Teaching File

EDITOR Daniel B. Nissman



監訳 船曳知弘

症例の100本ノックで
読影力を引き上げろ。

エキスパートの思考パターン(1)病歴→(2)画像所見→(3)鑑別診断→(4)最終診断→(5)解説→(6)設問:理解を深めるために→(7)読影医の責務→(8)治療医が知っておくべきこと→(9)解答)を掲載。症例の100本ノックで読影力を引き上げよう!

医学書院

救急画像ティーチングファイル

Daniel B. Nissman＝編

船曳知弘＝監訳

定価 5,280 円／B5 判・306 頁／医学書院／2019

LWW の人気シリーズ、Teaching Files の1冊。「救急の画像診断」をテーマに、よく遭遇する100疾患に関する知識の補充・整理・復習に役立つ。エキスパートの思考パターン(1)病歴→(2)画像所見→(3)鑑別診断→(4)最終診断)をなぞりながら、それらを確実に自分のものにするための解説と演習問題(5)解説→(6)設問:理解を深めるために→(7)読影医の責務→(8)治療医が知っておくべきこと→(9)解答)を掲載。症例の100本ノックで読影力を引き上げよう!